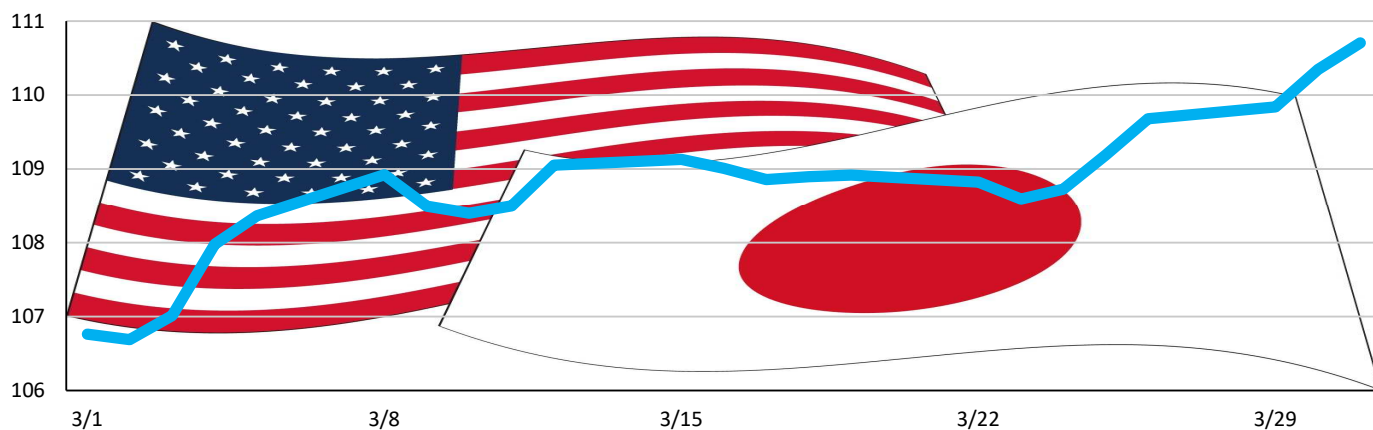


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**3月のドル円相場は106円半ば～110円後半で推移。月初は2月からのユーロやオセアニア通貨売りドル買いが継続し、ドル円は109円台を回復。その後はECBやFOMC、日銀金融政策決定会合などを控えて売り買いが交錯し、徐々に上値が重くなりつつあったが、米長期債利回りが上昇してきたことで、再びドル買いが活発となった。さらに堅調な株式市場を背景に、リスク選好の円売りも重なったことで、月末にドル円は心理的節目の110円を突破し、111円手前まで円安ドル高が進行した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**バイデン大統領が発表したインフラ投資計画が8年間で2兆ドルを超える規模だったことで、ドル買いの地合いが強まっている。さらに4月に発表予定の社会福祉関連投資を加えると総額3兆ドルを超える規模ということも地合いの強さにつながっている。ただ、ドル円は3月だけで4円以上の動きとなり、最近では見られなかった大きな変動幅ということで、調整局面には気を付けておきたいが、トレンドとしては昨年の高値112円台を目指す動きが続いていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 22 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
4 / 27 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
4 / 29 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
4 / 29 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 6 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
5 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。